

「子育て支援が充実しているから住みたいな」と思う町に

子育てママとの意見交換会

2月12日、子育てに関する要望を聞き町政に反映させる目的で、総務経済常任委員会が子育て世代のママ7名との意見交換会を役場で開催しました。

参加された方からは、「和寒町の子育て支援はとても厚く、特に医療と交通費助成はありがたい」との話がある一方、「子どもが自然の中で遊べる場所がほしい」「子どもが（外遊びする

のに）バスケットボールのゴールを設置してほしいと名前も書いて役場の投書箱に要望したのに音沙汰がない」「中高生と高齢者との繋がりを増やすために、ごみ拾いや以前やっていた除雪ボランティアをやったら交流できるのではないか」「習い事の送迎サービスを実施してほしい」など様々な意見がありました。

いただいた意見・要望は、今後勉強しながら町政に反映できるように努めていきます。



▲子育て・教育・雇用創出など多彩な意見が出ました

住民の多様な意見を町政に反映へ

加速した畑地化 本町の農業はどこへ向かえばいいのか



▲多くの意見や問題が出ました

JA北ひびき和寒役職員との意見交換会

2月17日、農業における現状の問題や今後の課題について、JA北ひびき和寒役職員と農業議員連盟との意見交換を行いました。

まず、カンントリーエレベーターは、令和8年に事業費の償還が終わり、JAとの指定管理契約も期限が迫り、その後の管理運営については組合員に寄り

添った現状の運営が望ましく、施設の譲渡までの考えには及ばないのが現状として挙げられた。

次に交付対象水田から除外する畑地化の影響については、「土地の評価額の下落によって営農継続していけるのか心配」「圃場の大区画化への必要性はあるが、誰が旗振り役をするのか」等懸念される内容と、さらに農村部に点在する廃墟家屋の問題は、今後さらに拡大する事が予想され、改善策として町からの支援はどのようなものが考えられるのか等、意見が交わされました。

今後議論を深めながら町政に反映できるように努めていきます。

※農業議員連盟 令和5年4月改選後、4名の農業議員で結成。
農業政策等の勉強会や町民からの要望等、町政への反映を目指す。